※令和４年度以降入学生用

学校番号	1010

令和８年度　[学]総合実業科

教科	[学]総合実業	科目	(学)グローバルキャリアⅡ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする探究的な活動を行います。
・学校周辺の地域（中河内）にある文化・自然・地域団体へのフィールドワーク・発表などの実習を行います。

2　学習の到達目標

集団の一員としての自覚を持ち、横断的・双方的な自己の未来を創造する学習を行うことを通して、心豊かな自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を主体的に発見し解決し、たくましく社会を生き抜ける、自他ともに愛する民主的な人間かつ社会に貢献する人間になるための以下の資質・能力を育成することをめざす。
(1) 探究の過程において、主体的に自己の未来の創造と関連する課題の発見と解決に必要な自己実現のための知識及び技能を身に付け、平和的・文化的な社会に関わる概念を形成し、社会貢献の意義や価値を理解する。
(2) 国際的な視野を持って実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自己の未来の創造と関連する課題を立て、主体的に情報を集め、収集した情報を整理・分析して、自己の意思を言語化して表現し、自己実現のための行動を起こす力を身に付ける。
(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、集団の一員としての自覚とともに、聴く力・考える力・伝える力・協働力・貢献力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界地域の歴史や文化を理解し、ロカール・グローバルな視点で過去・現在・未来を自分の環境を説明することができる。	学んだ知識で世界地域の過去・現在・未来のつながりについて、グループワークのなかで他者に表現して伝えることができる。	様々な視点をもつことで、ひとつの課題に対して多様な解決方法や個人・チームにおける粘り強く課題解決に向かう姿勢を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	国際問題について調べ学習とレポートの作成	①課題の設定 自己の興味・関心を起点にして、具体的な調査課題を設定する。 ②情報の収集 設定した課題を解決するために必要な情報を広い範囲から迅速かつ効果的に収集する。 ③整理・分析 収集した情報の事実や関係を構造的に把握し、自分の考えを形成する。 ④まとめ・表現 調査したことを基に、レポートを書く。	a:課題を設定し、解決に導くための方法を理解する b:文章やインターネットを使って情報を収集し、自分の考えを図や文章で表現することができる c:課題について主体的に情報を収集し、自分の考えを深めようとする	・小テスト	・課題提出	・振り返りシート
二学期	国際問題をベースにした学習	①課題の設定 与えられた課題について、問題の所在が明らかになるよう、多角的な視点で検討する。 ②情報の収集 問題解決のために必要な情報を明確化し、収集する。 ③整理 収集した情報を多角的・実際的に分析する。	a:課題を設定し、解決に導くための方法を理解する b:文章やインターネットを使って情報を収集し、自分の考えを図や文章で表現することができる c:課題について主体的に情報を収集し、自分の考えを深めようとする			
三学期	国際問題まとめ	まとめ 整理された情報等を基に、実行可能な問題の解決策を提案する。	a:課題を設定し、解決に導くための方法を理解する b:文章やインターネットを使って情報を収集し、自分の考えを図や文章で表現することができる c:課題について主体的に情報を収集し、自分の考えを深めようとする			

※令和４年度以降入学生用

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度